

釜石市立小・中学校における学校規模の適正化・適正配置関係資料

1 基本方針策定の経過

年 月	内 容
令和3年3月	釜石市学校規模適正化検討委員会を設置。 教育委員会から「学校規模等の教育環境をどのように考え整備することが望ましいか」について諮問。
令和3年3月～	釜石市学校規模適正化検討委員会を開催（9回）
令和4年11月	検討委員会が教育委員会に提言書を提出
令和5年12月	基本方針（案）について釜石市総合教育会議で説明
令和6年1月	基本方針（案）について釜石市議会議員全員協議会で説明
令和6年1月～2月	意見募集の実施
令和6年2月	保護者アンケートの実施
令和6年2月	基本方針（案）地域説明会の開催 （中学校区5カ所で実施 参加者数 延べ73人）
令和6年3月	釜石市教育委員会議で議決（策定）

2 基本方針

(1) 目的

児童生徒数が減少する予測の中、当市の学校教育が目指す「強く生き抜く力」を育成するために、児童生徒にとって望ましい教育環境の整備を図ることを目的とします。

(2) 手法

- ① 全市的な観点から学校統合を検討します
- ② 小中一貫教育（小中一貫校及び義務教育学校）の導入の可能性について検討します

(3) 基本方針と方策

	基本方針	適正化・適正配置の方策
1	望ましい教育環境の整備 児童生徒にとって望ましい教育環境の整備を図ることを目的に行います。	<ul style="list-style-type: none"> ●当面は、現在の5中学校区内から学校がなくなることはないように配慮する必要があると考え、小学校を1校は存続することを基本とします。 ●中学校において全ての教科で専門免許を有する教員を確保するためには、9学級以上が必要となり、市内全ての中学校を一つに統合する必要があります。しかし、学区が広範囲になるなどの課題が生じることから、複数校の設置が必要であると考えます。 ●校舎は、既存の校舎を活用することを基本とします。

	基本方針	適正化・適正配置の方策
2	<p>学校規模の考え方</p> <p>学校規模の標準は、小・中学校とも12学級から18学級とされていますが、当市の実情に応じて適正化・適正配置を行います。</p> <p>複式学級の措置は、可能な限り行わないこととします。</p>	<p>【小学校】 学級数6学級以上（各学年1学級以上）を基準とします。</p> <p>【中学校】 学級数9学級以上（各学年3学級以上）が望ましいと考えますが、学区が広範囲になるなどの課題があることから、8学級以下となってもやむを得ないものとし、この場合、小中一貫教育の導入についても検討します。</p> <p>【1学級の人数】 15人～35人</p>
3	<p>小規模校を存続させる場合の教育の充実</p> <p>小中一貫教育（小中一貫校及び義務教育学校）の導入を検討します。</p>	<p>小中一貫教育の導入について検討するとともに、小規模校を存続させる場合は、小規模校のメリットを生かし、デメリットを最小化する工夫を行います。</p>
4	<p>通学条件を考慮した適正配置</p> <p>児童生徒の状況及び通学距離などの児童生徒の負担を考慮した適正化・適正配置を行います。</p>	<p>通学時間は、小学校は45分以内、中学校は1時間以内を目安とし、通学距離が小学校はおおむね2.6km以上、中学校はおおむね4km以上の場合は、スクールバスの運行など通学手段の確保に努めます。</p>
5	<p>保護者、地域、市民の理解</p> <p>保護者や地域、市民への理解を得ることに努めるとともに、学校と地域とのつながりへの配慮に努めます。</p>	<p>これまでの学校と地域との関わりに十分配慮し、学校規模の適正化・適正配置の必要性や考え方について、各中学校区での説明会やパブリックコメントの実施、教育広報の活用など、様々な機会を用いて理解を図るよう努めます。</p>

3 対象校の抽出

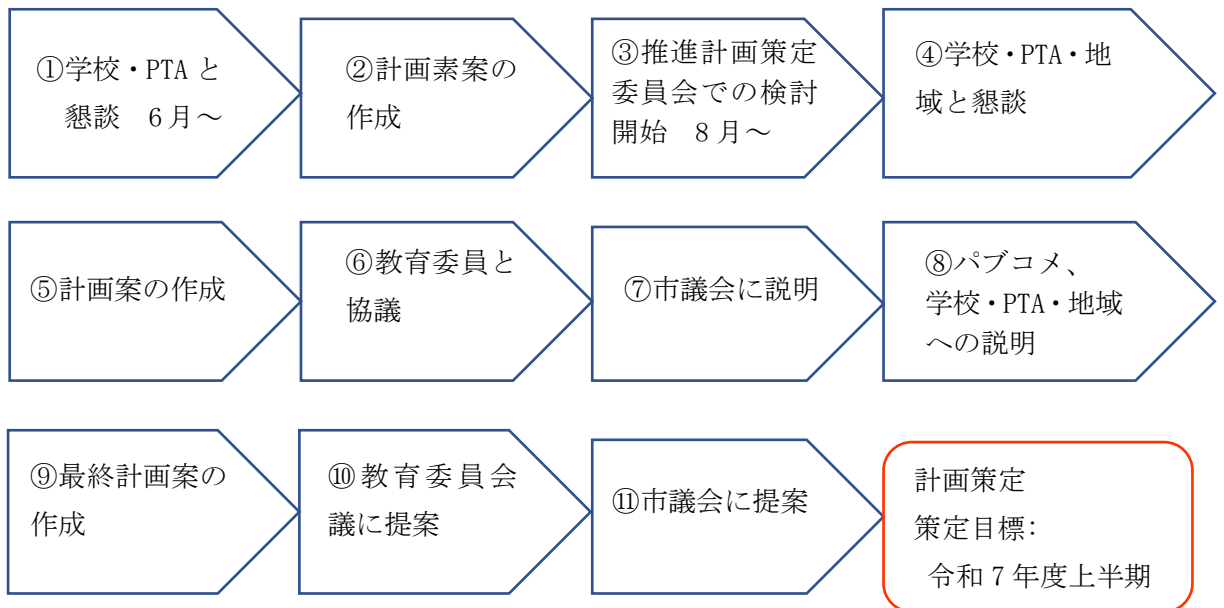
No.	抽出の条件	学校名
1	複式学級を有する学校	白山小学校、栗林小学校、唐丹小学校
2	令和12年度までに複式学級が予測される学校	釜石小学校、唐丹中学校
3	令和12年度までに9学級の確保が見込めない中学校	釜石中学校、甲子中学校、釜石東中学校、大平中学校、唐丹中学校
4	令和12年度に全ての学級が15人未満となる学校	釜石小学校、双葉小学校、白山小学校、栗林小学校、唐丹小学校、唐丹中学校

※現在の5中学校区に小学校を1校は存続させるため、唐丹小学校は基本として対象外

※中学校は、市内1校にした場合、学区が広範囲になるなどの課題が生じることから、複数校の設置とし、8学級以下でもやむを得ないものとする

※児童生徒数の推移については、4ページ以降を参照

4 推進計画策定のおおまかな流れ



◎学校統合の流れ



■釜石市立小・中学校の現状

1 児童生徒数及び学級数の推移

表1 小学校における児童数及び学級数の推移 (R6.5.1 現在)

学校名	年度 ※()内は西暦									増減率 (R6-R12)/R6
	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030	
釜石小	92 6	86 6	80 6	69 6	66 6	60 5	56 5	49 4	43 4	△46.3
双葉小	135 6	130 6	119 6	106 6	95 6	87 6	77 6	71 6	61 6	△48.7
白山小	30 4	32 4	31 4	36 4	29 4	31 4	30 4	30 4	27 3	△12.9
平田小	148 6	160 6	143 6	147 6	150 6	145 6	147 6	132 6	124 6	△13.3
小佐野小	288 12	285 12	283 12	251 10	230 9	192 8	184 8	181 8	163 7	△42.4
甲子小	248 12	249 12	225 10	230 11	221 10	210 9	196 8	171 7	170 7	△24.4
鵜住居小	140 6	147 6	143 6	134 6	135 6	127 6	130 6	118 6	123 6	△14.0
栗林小	33 3	31 4	30 3	26 3	25 3	21 3	17 3	14 3	14 3	△53.3
唐丹小	56 5	53 5	44 4	39 4	39 4	32 4	34 4	32 4	36 4	△18.2
合計	1,170 60	1,173 61	1,098 57	1,038 56	990 54	905 51	871 50	798 49	761 46	△30.7

※上段は児童数、下段は学級数

※児童数には特別支援学級在籍児童数を含む。

※学級数に特別支援学級は含まない。

表2 中学校における生徒数及び学級数の推移
(R6.5.1 現在)

学校名	年度 ※()内は西暦								増減 R6-R12	増減率 (R6-12) /R6
	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)		
釜石中	289 10	295 10	286 10	278 10	278 10	235 8	228 7	204 6	△91 △4	△30.8
甲子中	128 6	124 6	114 5	115 5	111 5	118 6	120 6	114 5	△10 △1	△8.1
釜石東中	83 3	85 3	88 3	87 3	90 3	81 3	91 3	83 3	△2	△2.3
唐丹中	22 3	31 3	30 3	29 3	28 3	26 3	23 3	16 2	△15 △1	△48.4
大平中	81 3	81 3	75 3	88 3	81 3	86 3	92 4	93 4	12 1	14.8
合計	603 25	616 25	593 24	597 24	588 24	546 23	554 23	510 20	△106 △5	△17.2

学校名	年度 ※()内は西暦							増減 R6-R18	増減率 R18/R6
	R13 (2031)	R14 (2032)	R15 (2033)	R16 (2034)	R17 (2035)	R18 (2036)			
釜石中	191 6	163 6	135 6	126 6	138 6	132 5		△163 △5	△55.3
甲子中	112 5	101 4	96 4	84 3	70 3	74 3		△50 △3	△40.3
釜石東中	79 3	69 3	65 3	67 3	62 3	72 3		△13	△15.3
唐丹中	13 2	16 3	16 3	21 3	16 3	20 3		△11	△35.5
大平中	97 4	87 3	83 3	80 3	75 3	68 3		△13	△16.0
合計	492 20	436 19	395 19	378 18	361 18	366 17		△250 △8	△40.6

※上段は生徒数、下段は学級数

※生徒数には特別支援学級在籍児童数を含む。

※学級数に特別支援学級は含まない。